

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年12月5日 14:03）

京畿道華城市野鳥糞便から H5 亜型及び H7 亜型鳥インフルエンザ（AI）抗原 検出

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmcmElMkY2OCUyRjMxODk1MCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

（機械翻訳に基づく仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、11月29日に京畿道華城市（ふぁそんし）始華湖（しふぁほ）で採取した野鳥糞便に対する検査を実施したところ、12月4日に H5N2 亜型及び H7N7 亜型 AI 抗原が検出されたと発表した。

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針（SOP）により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
- ④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 1～2 日所要予定

□ 忠清南道洪城郡看月湖（採材日：11月26日）、瑞山市浅水湾（11月27日）・海美川（11月27日）・扶南湖（11月28日）、京畿道華城市始華湖（11月27日）で採取した野鳥糞便の精密検査の結果、12月4日低病原性であることが明らかとなった。